



— 抜 粋 —

富山県婦負郡婦中町広田4194 市民いきものメイト

〔活動の目的〕

富山市ファミリーパーク内の「せんがるの森」に、市民の手で、動物が生息する里山を再生し、維持することによって、森の生物群集の多様性を保全・維持に努めることを目的とする。また、これらの活動を通じて、来園者に地域の自然保護の重要性を訴える。

ファミリーパークは動物のヒトの関係、ヒトと自然の関係を見つめなおす絶好のフィールドである。

〔活動の実績〕

1. 放置拡大モウソウチク林整理

植生の単一化の原因となっているモウソウチク林約250・を伐採し雑木林復元のための植樹地整備を行った。伐採した竹は炭に加工した。

2. 薪炭林の再生

森内には、炭焼き窯跡があるなど薪炭林として利用されていた名残が見られる。ヒサカキやアオキなどが繁茂しているので、約2460・の林床刈払いを行い、森の活性化を図った。

3. 動物群衆の生息環境保全

里山再生の経年変化を記録するために、生物調査を随時実施している。2003年の春にはフクロウの子育てが観察され、8～9月には夜間にタヌキの撮影に成功するなど生物の生息環境の改善につながっている。

4. 地域希少種の保全

谷津田の湿地にミニ田んぼを復元し、地域の希少種保全に努めているが、2003年春にホクリクサンショウウオの成体及び幼生を確認した。

5. 森林ビオトープ

昆虫類や小型哺乳類、鳥類などの生息環境整備を目的に、陽の当たるパッチ上の森林ジャップ創出、チップ化した竹の子枝や枯木の山積みを行った結果、ウスバシロチョウ、ムカシヤンマ、カブトムシなど増加を確認しました。

6. 生物群集保全事業の成果確認と啓発普及

いろいろな機会を利用して、里山保全活動の成果発表と普及活動（参加者総数2,043名）を行った。

7. 期間中の活動日数47日。市民いきものメイトの参加者 839名。
一般市民の参加者 2,043名であった。

【今後の課題】

市民の手で整備を進めるファミリーパーク地内「せんがるの森」の自然環境は、竹林伐採や刈払いなどにより不安定な状態にある。今後、年月を経て自然環境がどのように変化してゆくかをモニタリング調査する必要がある。これは多様性ある里山環境を維持し、かつその重要性を市民に啓発普及していく上で不可欠である。

放置竹林の整備には、これまでに目標の約41%(2,050・)を達成したが、この先約9年が基礎整備完了までに必要である。薪炭林の再生は、これまでに目標の約55%(5,460・)

を達成し、残り2年で基礎整備が完了する。しかし、里山環境は元来、人手を入れ続けた結果残されたものであり、既に整備が完了した地区にも定期的な間伐などの維持管理作業が必要である。

市民いきものメイトでは竹林跡地を自生種で森林復元することを目指し、2002年秋から「どんぐりの里親活動」も開始した。苗木を移植するのは早くても2004年以降であり、その後の手入れなど生き物の集う雑木林を形成するまでには長い期間の維持管理作業が求められる。

このように「せんがるの森」では、森林整備のほか、動物群集保全のための積極的な保全作業が必要となってきた。ホクリクサンショウウオの産卵池の増設、食餌植物(実のなる木)の植樹、営巣できる大径木の育成など、今まで以上に多くの生物が生息し、多様性のある豊かな生態系の創出に努める。

「せんがるの森」に代表される地域の貴重な生物群集を後世まで良好な形で残すためには、市民と自然をより強く結びつける活動としての本事業を今後も継続発展させて行きたい。そのために会員や私たちの活動に興味を持つ市民(ファミリーパーク来園者を含む)を対象とした勉強会を継続的に開催し、知識の普及や人材育成を行うなど、活動の輪を広げたい。

【閉じる】